令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 会計課
 担当名: 予算係
 内線: 2236

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P18	大規模災害対策の推進			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	警察施設整備費			
事業期間	平成18年度～	根拠法令	警察法、建築基準法			針路分野施策	01 災害・危機に強い埼玉の構築 0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsゴール	13, 16		
1 事業概要 東日本大震災を機に県民の防災意識はこれまで以上に高くなっている。 大規模災害時に防災拠点となる警察施設の機能強化及び災害に強い体制の整備を継続的に進め、県民の期待に応える。 ア 大型非常用発動発電機の更新等 △18千円 イ 警察施設の浸水対策 △31,455千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 大型非常用発動発電機の更新等 (ア) 大型非常用発動発電機の更新(蕨警察署(350KVA)) (イ) 非常用発電機の蓄電池交換 (新座警察署、狭山警察署、久喜警察署、熊谷警察署、所沢警察署、本庄警察署、機動センター小川警察署、西入間警察署、杉戸警察署、交通機動隊、宮原分庁舎) イ 警察施設の浸水対策 (ア) 警察施設の電気設備等に係る浸水対策 (久喜警察署、杉戸警察署、蕨警察署、本庄警察署、川越警察署) (2) 事業計画 ア 大型非常用発動発電機の更新等 (ア) 令和6年度 蕨警察署(350KVA) (イ) 令和7年度 上尾警察署(350KVA) (ウ) 令和8年度 行田警察署(150KVA)、鹿手袋分庁舎(30KVA) (エ) 令和9年度 東松山警察署(200KVA)、上尾分庁舎(50KVA) (オ) 令和10年度 羽生警察署(150KVA)、飯能警察署(200KVA)、航空隊(15KVA) イ 警察施設の浸水対策 (ア) 令和6年度 久喜警察署、杉戸警察署、蕨警察署、本庄警察署、川越警察署 (イ) 令和7年度 大宮西警察署、加須警察署、川口警察署、草加警察署、鹿手袋分庁舎、交通機動隊、上尾分庁舎 (3) 事業効果 大規模災害や自然災害等により商用電力等の供給がされない場合、復旧までの時間を想定した能力(約72時間)を備えた大型非常用発動発電機等を整備し、浸水対策を講じることで、防災拠点の機能維持を可能とする。 【活動指標(アウトプット)】 発発の更新1か所、蓄電池の交換12か所、浸水対策の実施5か所 【成果指標(アウトカム)】 災害時における警察施設の電力確保(72時間)、浸水時における警察施設の維持 (4) 補正予算の概要 契約差金による減額						SDGsターゲット	13-1, 16-6
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 地方債の充当率 100% 交付税措置 元利償還金について、その70%を基準財政需要額に算入											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし											
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額		
決定額	△31,473	県 債	△31,000					△473	264,962		
現計額	296,435		285,000					11,435			

事業内訳書

事業名	大規模災害対策の推進		
単位事業名	大型非常用発動発電機の更新等	予算額	△ 18千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△18	—	
合計	△18	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△18	—	契約差金が生じたことによる設計委託の減
合計	△18	—	

単位事業名	警察施設の浸水対策	予算額	△ 31,455千円
-------	-----------	-----	------------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・警察債	△31,000	—	警察署庁舎建設事業債
一般財源	△455	—	
合計	△31,455	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△4,471	—	契約差金が生じたことによる設計委託の減
工事請負費	△26,984	—	契約差金が生じたことによる浸水対策工事の減
合計	△31,455	—	